

評価

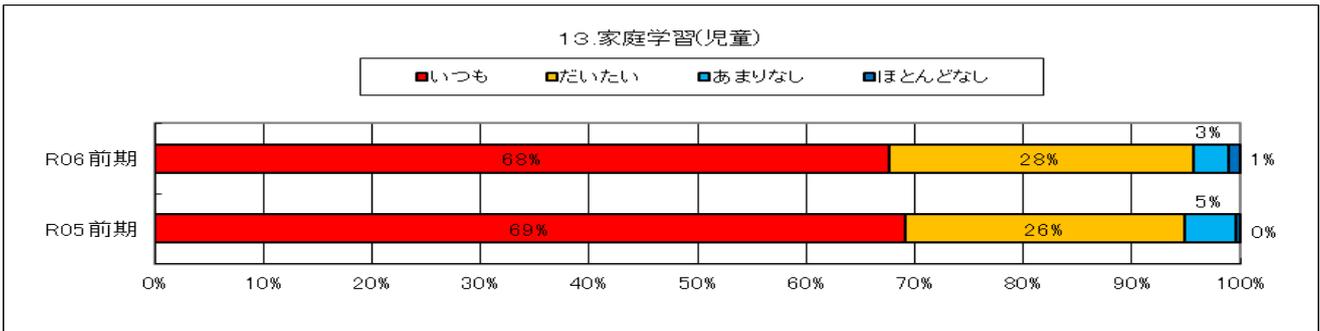
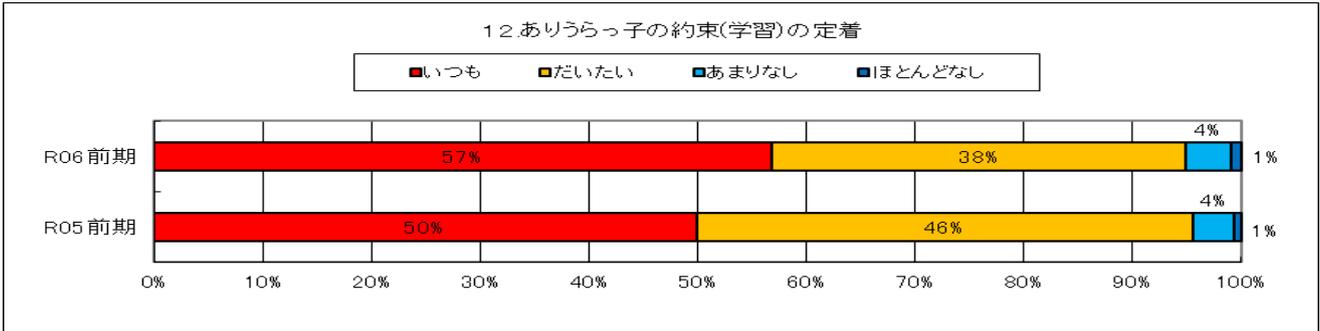
自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

IV 基礎学力

児童の状況	自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント	
意欲的に授業に臨ませ、基本的学習習慣を身に付けさせながら学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	①適度の学習規律に支えられながら、学ぶことの意義を理解し主体的に学ぶ児童であるよう、引き続き環境作りに努めてほしい。②家庭学習においても、「やれる子とそうでない子」「中身が深い子とそうでない子」など児童の特性と能力には差があるので、今後も家庭と連携し、常に寄り添う姿勢で励ましてほしい。③指導方法の工夫改善は、常に児童の姿を反映させたい。④タブレットの活用においては教育効果が十分期待できる教材研究が求められる。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期(→年度)】</p> <p>①4月に「有浦っ子・学習の約束」を配付後、各学級で指導を進めてきた。各学級で課題となる点をあげ、帰りの会等で振り返り、よくなったら、次の課題を解決するように進めてきた。少しずつ身に付いてきていることがアンケート結果から読み取れる。また、今年度は、学びの広場委員会が朝に学習の約束について呼びかけを行っているので、学習の約束を意識して一日過ごすきっかけになっている。</p> <p>②家庭学習の取り組みとして、4月に「家庭学習のすすめ」を配付し、指導をおこなってきた。家庭学習のすすめには、家庭学習を取り組む上で大切にしたいポイントをあげ、指導してきた。各学年の廊下には、家庭学習で他の児童の参考になるノートを展示して、子どもたちが興味をもって取り組めるようにしている。</p> <p>③算数の評価問題では、今まで「単元評価問題」に取り組む時間を確保することが大変で、どの学年もぎりぎりで行き届くことが多かったが、単元評価問題を学習内容ごとに分割し、授業時間内に取り組むことで、時間の確保ができるだけでなく、学習したその時間にじっくりと問題に取り組むことができる。</p> <p>（後期の取り組み）</p> <p>①学習の約束や規律については、定期的に振り返る時間を設けたり、児童の委員会活動と連携し、呼びかけをしたりしていきたい。</p> <p>②家庭学習強調週間を設ける。一人勉強のポイントを紹介し、お手本ノートを展示する。児童が展示しているノートを興味をもって見て、自分の一人勉強にいかせるように委員会の活動と連携して進めていきたい。</p> <p>③読書強調週間を設け、読書に親しむ時間をとり、お勧めの本を紹介したり、本の森委員会の児童による企画をおこなったりし、読書の楽しさを感じられるように司書と協力して進めていきたい。</p> <p>④習熟やレディネスにつながるよう、学習内容に合わせてタブレットを活用した問題練習をより進めていきたい。</p>			
	<p>【年度(→次年度)】</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
9 基本的学習習慣	(9)基本的学習習慣の定着	学習のきまりの指導、ノート指導 ハンドサインの活用 全校テストの実施と事後指導 家庭学習への取り組み方の指導 朝読書の実施、読書運動の実施 読み聞かせの推進	3	
10 学力向上	(10)基礎学力の定着と向上	習熟の時間の確保と評価問題の工夫 諸学力検査等の結果を活用した 学力向上への取組	3	

※学校教育アンケートから  
(児童)



学びの広場委員会児童が、朝学習の前に、「学習の約束」について呼びかけをおこなっている。呼びかけが、子どもたちの意識を高めている。

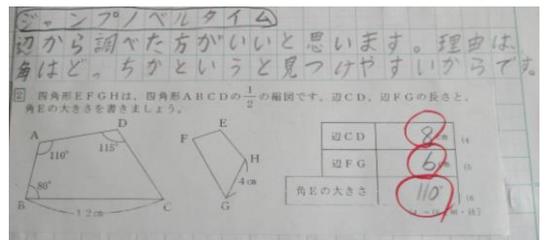


各学年の廊下にお手本ノートが掲示している。友達のノートが掲示されることで、興味をもってノートを見ている。また、教室には授業で使用したノートも掲示し、参考にしたいポイントを紹介している。

有満っ子・学習のやくそく (☺ ○ △ )

	名前			
授業が始まる前	①教科書・ノート・下じき・筆記用具を準備して休み時間にしていますか。			
	②授業が始まる時くには席についていますか。			
授業中	③正しい姿勢、鉛筆の持ち方で勉強していますか。			
	④話している人に体を向けて最後まで聞いていますか。			
	⑤「聞いたら反応」ができていますか。			
	⑥「はいっ」の返事はできていますか。			
	⑦いすの前に立ち、聞いている人の方に体を向けて最後まではっきり話すことができていますか。			
	⑧下じきをいして書いていますか。			
	⑨鉛筆や定規等は机の上方に整理して置いていますか。			
	⑩タブレットは、机の左上におき、使わないときは閉じて話を聞いていますか。			

課題となる項目を各学級で取り組んでいる。全校では、「聞いたら反応」最後まで聞く」という項目を中心に取り組んできたが、後期も引き続き呼びかけや指導をおこなう。



単元評価問題を授業時間内に評価問題として取り組んできた。習熟の時間の確保と、より質の高い評価問題に取り組むことができる。